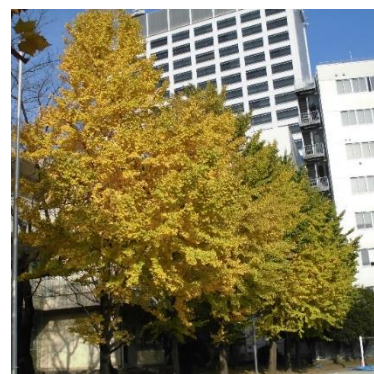




進路選択

校長 五十嵐 圭一

時の経つのは早いもので、もう師走の声を聞くところとなりました。桜木中学校の木々も秋の深まりとともに美しく色づき、今では落ち葉へと移ろい始めています。



南館南側の銀杏の木

さて、この時期、3年生は進路選択、進路実現に向けて受験勉強の真っ最中です。受験勉強は、単に高校等に合格するために点数を取るためだけの勉強ではなく、義務教育9年間の総まとめ、高校等の上級学校で学ぶための準備、さらには将来の自分の夢を実現するための勉強ともいえます。

「何のために勉強するのか」という素朴な疑問の答えが何となくわかってくるのもこの時期ではないでしょうか。特に今年度は、長期間の休校など

新型コロナウイルス感染拡大防止に係る様々な対応により、受験生にとっては、様々な不安や戸惑いを感じながらの受験勉強ではないかと思えます。その影響は、今年度の入試にも及んでいます。埼玉県公立高等学校入学選抜の学力検査は、数学において円周角や三平方の定理等が除かれるなど、5教科全てにおいて出題範囲が例年より狭くなっています。また、学校説明会等も例年とは異なり、リモートで実施されている学校も多かったようです。このような状況の中、本校の3年生は、決して浮足立つことなく、落ち着いて毎日の授業に取り組んでいます。実に素晴らしいと思えます。

現在、進路指導の一環として行っている校長面談においても、例年以上に3年生一人ひとりの自覚の高さが伺えます。私は、「現時点での、中学校卒業後の進路希望を教えてください。」と問いかけます。生徒たちの多くは、「〇〇高校に進学したい。」という直近の進路希望だけでなく、将来の夢についても語ってくれます。弁護士や医師、調理師、教員、エンジニアなど、具体的な職業名をあげる生徒もいれば、人の役に立ちたい、留学して専門的な勉強をしたい、音楽に係る仕事をしたいなど大まかな方向性を語る生徒もいます。また、「最近のニュースで興味をもったことは何ですか。」という問いに対して、コロナウイルスに係る国の対応やアメリカの大統領選挙などをあげ、それに対する自分なりの意見を語ってくれます。自分の考えを自分の言葉で一生懸命に語るその姿から、生徒たちは、私たち大人が思っている以上に、自分の将来や現在の社会情勢について真剣に考えていることが感じ取れます。

新型コロナウイルスの感染拡大は、第3波の到来とも言われるように、一向に収束の兆しが見えない状況にありますが、学校では、マスク着用、検温、アルコール消毒など、感染防止対策に万全を期し、教育活動を進めてまいります。引き続き、保護者、地域の皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

改めまして、皆様の今年一年のご支援、ご協力に深く感謝申し上げますとともに、よい年をお迎えくださいますようお願いいたします。